**○○特別支援学校 安全教育全体計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **安全上の課題**  〇登下校運行しているスクールバスは高知県東部の海岸線を走り発災時の津波や土砂からの避難は困難を極める。  ○○○県東部全域を校区としており、津波や土砂災害、河川の氾濫の危険性が高い地域に住む児童生徒もいる。  ○夜間寄宿舎の発災時や防犯上の避難場所や人員に課題がある。  ○通学路は幹線道路沿いであり徒歩や自転車通学生の通学において交通安全上の課題がある。  ○自転車やJR等の公共交通機関の利用や施設や放課後等デイサービスの送迎等通学方法が多様で通学途中の危機管理に課題がある。 |  | **学校教育目標** |  | **安全管理**  ○安全点検  ○救急・緊急連絡体制  ○家庭との連携（「○○安心メール」の登録による、事件事故時の速やかな連絡体制の確立）  ○広域福祉避難所（市役所や保健所、地域の福祉施設との連絡体制整備）  **安全に関する組織活動**  ○校内組織（学校安全3領域に関する分掌を一本化、学校安全担当教員を中心とした取組）  ○教職員研修（防災・救急法・アレルギー対応・不審者対応等）  ○警察からのビデオ視聴等、視覚支援を用いた研修実施  ○学校安全(保健)委員会  ○PTA親子行事  ○広域福祉避難訓練 |
| 知　自ら学び、自らチャレンジ  徳　挨拶、返事、思いやり  体　心も体もたくましく  新たな時代に胸を張り、主体的に生きる社会人の育成 |
|  |  |
| **安全教育の目標** |  |
|  | * 安全教育3領域に関する知識を理解し、主体性をもって自らの命を守り抜くための態度や能力を身に付けた児童生徒の育成 |
|  | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **学　部　別　重　点　目　標** | | |
| **【小学部】** | **【中学部】** | **【高等部】** |
| 【生活安全】  ○集団行動がとれ、家庭では保護者や支援者とともに安定して生活できる。  【交通安全】  ○信号を理解し、支援を受けながら落ち着いて横断歩道を渡り、安全な道路の歩き方を覚える。  【災害安全】  ○発災時、支援を受けながら倒壊物のない安全な場所に身をよせ、頭を守る動作をとることができる。 | 【生活安全】  ○河川等一人で行ってはいけない場所や人通りの少ない場所や夜間等の危険がわかり安全に生活できる。  【交通安全】  ○自転車通学ではヘルメットを着用し雨の日は合羽を装着し、交通ルールを守って通学できる。  ○登下校の安全に留意して通学できる。  【災害安全】  ○発災時、自分で判断し、より高い場所や広い場所に身を寄せ、揺れがおさまるまで落ち着いて頭を守る行動がとれる。 | 【生活安全】  ○携帯やＳＮＳ等の危険性を理解する。単独行動の危険性や周囲の環境に流されることなく、自分で善悪を判断して生活できる。  【交通安全】  ○単独通学や家庭生活において交通ルールを厳守する。歩行時や自転車でのスマホやイヤホンでのわき見や雨天時の傘等に注意できる。  【災害安全】  ○卒業後の居住地や通勤路の危険箇所を知り避難経路や避難場所がわかり安全に避難する力を身に付ける。災害対策標識を読み取り主体的に行動できる。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **関連する主な領域及びその指導内容** | | | | | |
|  | **【小学部】** | | | **【中学部】** | **【高等部】** |
| **各**  **教**  **科** | 【生活安全】  ○生活カ役割・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別  活動  　・けが人や病人を助ける方法を知ろう  ○生活イ安全・道徳A節度節制  　・川や海や山、線路や幹線道路など危険な場所を知り、一人で出かけないようにしよう  　・登下校時の安全な行動について知ろう  　・支援を受けながら安全に遊具を使おう  ○生活イ安全オ人との関わり・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・家庭や地域の人と仲良くしよう  　・休日は家族と一緒に過ごそう  　・子ども１１０番の家を覚えよう  　・不審者から逃げる方法を学ぼう  ○生活コ社会の仕組みと公共施設・国語  　・警察や消防署などの場所や役割について知ろう  ○体育・道徳Ｄ生命の尊さ  　・簡単なきまりを守り、安全に楽しく運動しよう  ○特別活動・道徳Ｄ生命の尊さ  　・事件や事故から身を守る方法を知ろう  ○生活ク金銭の扱いオ人との関わり・国語  　・買い物等を通して支援を受けながら金銭の価値が分かり、お金の大切さを理解しよう  【交通安全】  ○生活イ・国語  　・安全に登下校しよう  　・信号機や横断歩道を覚え正しい道路の渡り方を身に付けよう  ・支援を受けながら線路の渡り方や幹線道路の通行の仕方を覚え、安全に生活できるようになろう  ・自動車やバスに乗る時はシートベルトをしよう。  ・走行中は窓から手や顔を出さない、離席しない、立ち上がらない、ホームに近づかない等、乗車中のきまりを守ろう  　・安全な道路の歩き方を覚えよう  【災害安全】  ○生活ア基本的生活習慣・国語・道徳Ａ節度、節制・特別活動  　・身の回りの自分でできることを増やそう  ○生活イ安全・国語・特別活動・道徳Ｄ生命の尊さ  　・南海トラフ地震がきたらどのようになるのかを知ろう  　・火災や自然災害の危険性を知ろう  　・緊急地震速報について知ろう  　・揺れから身を守る体勢を身に付けよう  　・津波避難行動を学ぼう  　・一人の時でも助かるための方法を学ぼう  　・地震火災・台風、洪水、土砂災害から逃げる方法を身に付けよう  ○生活コ社会の仕組み・国語・特別活動  　・非常持ち出し品について学ぼう  　・支援を受けながら非常持ち出し袋を準備しよう  ○生活カ役割・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別  活動  　・けが人や病人を助ける方法を知ろう  　・地域の防災訓練に参加しよう  ○生活ケきまり・国語・道徳Ａ節度節制・日常  生活指導・特別活動  　・避難所での生活を知ろう  　・防災食や段ボールベット、簡易トイレ等に慣れよう  　・避難所生活のルールやマナーを学ぼう  　・自分のことは自分でしよう  　・積極的にお手伝いしよう  ○生活オ人との関わり・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・地域の人とあいさつしよう  　・家庭や地域の人と仲良くしよう  　・支援を受けながら地域の防災訓練に参加しよう | | | 【生活安全】  ○保健体育Ｈ保健・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・けが人や病人を助ける方法を学ぼう  ○職業・家庭科Aイ役割エ地域の人々・国語・特別活動  　・地域の人とつながろう  　・登下校時の安全な行動を覚えよう  　・家庭生活での安全な行動を覚えよう  　・一人で出かけるときの注意点を知ろう  ○保健体育H保健・道徳Ｄ生命の尊さ  ・決まりや簡単なスポーツのルールを守り、友達  と協力しながら用具の安全に留意して運動しよ  う  ○社会ウ地域の安全・国語  ・警察や消防や保健所、市役所等の安全な生活を  守るための役割について学ぼう  ・警察や消防や保健所、市役所等地域の施設の人  達が危険から人を守るための活動について知ろ  う  ○職業・家庭科 職業分野A職業生活  ・使用する道具や機械の扱い方を学ぼう  ○総合的な学習の時間・道徳Ｄ生命の尊さ  ・安全や保健に留意して体験活動や交流学習をし  よう  ○数学A数と計算・職家C消費生活・環境・国語  ・生活に必要な金銭のやり取りを覚えよう  ・お金の価値を理解しよう  【交通安全】  ○社会ウ地域の安全・国語  　・交通ルールを身に付けよう  　・道路標識を理解しよう  　・ヘルメットをかぶり、自転車の安全な走行の仕方を覚えよう  ○保健体育H保健・国語  　・交通事故に遭わない様に、安全に生活しよう  【災害安全】  ○理科Ｂ地球・自然・国語・特別活動  　・南海トラフ地震の大まかな仕組みや二次災害が起こることを理解しよう  ○社会イ公共施設・国語・特別活動  　・緊急地震速報の意味を学ぼう  　・警報と注意報の違いを理解しよう  ○社会ウ地域の安全・職家家庭分野Ｂ衣食住の生活・国語  　・非常持ち出し品について学ぼう  　・非常持ち出し袋を準備しよう  　・学校や家庭の備蓄について学ぼう  ○社会ア社会参加・保体Ｈ保健・総合・国語・特別活動  　・避難所での集団生活のルールやマナーを理解して行動しよう  ○社会ア社会参加・職家家庭分野Ｂ衣食住の生活・国語・特別活動  　・集団生活で積極的に手伝いをしよう  ○社会ウ地域の安全・特別活動・国語・道徳Ｄ生命の尊さ  　・揺れから身を守る体勢を身に付けよう  　・津波避難行動を身に付けよう  ○社会ウ地域の安全・オ地理や歴史・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・一人の時でも助かるための方法を学ぼう  ○社会ウ地域の安全・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・地震火災・土砂災害の仕組みを知り、逃げる方法を身に付けよう  　・二次災害の危険性を知ろう  ○保健体育 Ｈ保健・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・けが人や病人を助ける方法を学ぼう  ○社会ア社会参加・職家Ｂエ快適な住まい方・道徳Ａ節度節制・国語・特別活動  　・ルールやマナーを守った避難生活を学ぼう  ○社会イ公共施設・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・災害伝言ダイヤルの使用方法を理解しよう  ○職業・家庭科 Aイ役割エ地域の人々・国語・特別活動  　・地域の人とつながり、仲良くしよう  ・居住地の防災訓練に参加しよう | 【生活安全】  ○保健体育I保健・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・応急手当　心配蘇生の方法を学ぼう  ○家庭Aイ家庭生活・道徳Ａ節度、節制D生命の尊  さ・国語・特別活動  　・地域の人と共に生きる力を身に付けよう  　・登下校時の安全な行動を身に付け、自分で判断できるようになろう  　・社会のルールを守り、犯罪に巻き込まれない力を身に付けよう  　・携帯電話・SNSの正しい使い方を身に付け安全に生活を送ることができる力を身に付けよう  ○保健体育H体育理論I保健・道徳Ｄ生命の尊さ  ・安全な行い方を友達と考え協力しながら運動しよう  ○社会ア社会参加ときまりイ公共施設の哉割と制度・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・警察や消防や保健所、市役所等の安全な生活を守るための役割について覚えよう  ○職業A職業生活  ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考  えながら作業に取り組もう  ○総合的な探究の時間・道徳Ｄ生命の尊さ  ・安全や保健に留意して体験活動や交流学習をし  よう  ○数学３指導計画の作成と内容の取扱い  ・家庭C消費生活・環境  ・購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的  な金銭管理の必要性を知ろう  ・正しい金銭の取り扱いを身に付けよう  【交通安全】  ○保健体育I保健・国語  　・交通ルールや標識を正しく読み取り、きまりを守って安全に生活しよう  　・交通ルールを守りながら自転車や公共交通機関を活用して、行きたい場所に行く方法を身に付けよう  　・地図や携帯のマップ機能を活用して安全に生活できる力を身に付けよう  【災害安全】  ○理科Ｂ地球・自然・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動・社会ウ我が国の国土の自然環境と国民生活・３指導計画の作成と内容の取扱いオ  　・南海トラフ地震の大まかな仕組みや二次災害の危険性を理解し居住地の特性を学ぼう  　・台風や気象情報について学ぼう  　・気象災害から身を守ろう  ○社会イ公共施設の役割と制度・国語・特別活動  ・緊急地震速報を有効に活用しよう  ・警報や注意報について学ぼう  ○社会ウ我が国の国土の自然環境と国民生活・家庭  B衣食住・国語・特別活動  　・非常持ち出し品や備蓄品の必要性や活用方法を知ろう  　・いざという時のための家族会議をしよう  ○社会ア社会参加ときまり・保体I保健・総合・国語・家庭Bオ住居・道徳Ａ節度、節制・特別活動  　・ルールやマナーを守り協力して集団生活を送ろ  　う  ○社会ウ我が国の国土と自然環境と国民生活・特別活動・国語・道徳Ｄ生命の尊さ  　・どこにいても安全な場所を探して揺れから身を守る行動をとることができるようにしよう  　・津波避難行動を身に付けよう  　・一人の時でも助かるための方法を身に付けよう  　・地震火災・土砂災害から逃げる方法を自ら判断できる力を身に付けよう  ○保健体育 I保健・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・応急手当　心配蘇生の方法を学ぼう  ○社会ア社会参加ときまり・家庭Bオ住居・道徳Ａ  節度、節制D生命の尊さ・国語・特別活動  　・ルールやマナーを守り協力して避難生活を送る方法を学ぼう  ○社会イ公共施設の役割と制度・国語・道徳Ｄ生命の尊さ・特別活動  　・災害伝言ダイヤルの使用方法を理解し家族と連絡をとる力を身につけよう  ○家庭Aイ家庭生活・道徳Ａ節度、節制D生命の尊  さ・国語・特別活動  　・居住地の避難先や連絡先を確認しよう  　・地域の防災活動を知り積極的に参加しよう |
| **自立活動** | ○１健康の保持２心理的な安定３人間関係の形成４環境の把握５身体の動き６コミュニケーションの自立活動の６つの区分は、全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業に含まれている | | | ○１健康の保持２心理的な安定３人間関係の形成４　　　環境の把握５身体の動き６コミュニケーションの自立活動の６つの区分は、全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業に含まれている | ○１健康の保持２心理的な安定３人間関係の形成４環境の把握５身体の動き６コミュニケーションの自立活動の６つの区分は、全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業に含まれている |
| **各教科等を合わせた指導** | ○「日常生活指導」や「生活単元学習」等、各教科等を合わせた指導における安全教育については、中心となる教科を核に据え、他教科の内容を組み合わせて、総合的につけたい力を指導している  ○「生活単元学習」における防災学習においては、単元系統表を活用し実践している | | | ○「日常生活指導」や「生活単元学習」等、各教科等を合わせた指導における安全教育については、中心となる教科を核に据え、他教科の内容を組み合わせて、総合的につけたい力を指導している  ○「生活単元学習」における防災学習においては、単元系統表を活用し実践している | ○「日常生活指導」や「生活単元学習」等、各教科等合わせた指導における安全教育については、中心となる教科を核に据え、他教科の内容を組み合わせて、総合的につけたい力を指導している  ○「生活単元学習」における防災学習においては、単元系統表を活用し実践している |
| **特別の教科道 徳** | ○A善悪の判断．自律．自由と責任  ○A節度．節制  ○B親切．思いやり．感謝．礼儀．友情．信頼．相互理解．寛容  ○Cよりよい学校生活．集団生活の充実  ○D生命の尊さ  ○全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業では、特別の教科道徳の上記の内容を含んで指導している | | | ○A善悪の判断．自律．自由と責任  ○A節度．節制  ○B親切．思いやり．感謝．礼儀．友情．信頼．相互理解．寛容  ○Cよりよい学校生活．集団生活の充実  ○D生命の尊さ  ○全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業では、特別の教科道徳の上記の内容を含んで指導している | ○A善悪の判断．自律．自由と責任  ○A節度．節制  ○B親切．思いやり．感謝．礼儀．友情．信頼．相互理解．寛容  ○Cよりよい学校生活．集団生活の充実  ○D生命の尊さ  ○全ての教育課程で実践している安全教育に関する授業では、特別の教科道徳の上記の内容を含んで指導している |
| **総合的な学習（探究）の時間** |  | | | ○安全教育における探究課題においては、地域や学校の特色を踏まえて設定している  ○知的障害の特性を踏まえ、児童生徒の興味関心の深い探究課題を設定するとともに、各教科で培った力を総合的に関連付けながら具体的な課題を設定することに留意している。生徒が自ら主体的に取り組みやすい題材や支援方法を配慮し、自ら解決できるように配慮しながら指導している  ・人々の安全な生活のために活動する市役所の人  の仕事を知ろう | ○安全教育における探究課題においては、地域や学校の特色を踏まえて設定している  ○知的障害の特性を踏まえ、児童生徒の興味関心の深い探究課題を設定するとともに、各教科で培った力を総合的に関連付けながら具体的な課題を設定することに留意している。生徒が自ら主体的に取り組みやすい題材や支援方法を配慮し、自ら解決できるように配慮しながら指導している  ・地域の防災活動にはどのようなものがあるか調  べよう  ・学校周辺の危険箇所を調べて伝えよう  ・○○防災マップを作ろう |
| **特別活動** | **学級活動** | ○小学校特別活動（２）ウ心身ともに健  康で安全な生活態度の形成  ・学校周辺の小学校や地域の小学と  安全に気を付けて交流学習しよう  ・命を守る行動を覚えよう  ○小学校特別活動（３）イ社会参画意識  の醸成や働くことの意義の理解  ・日直や当番活動（清掃・給食・飼育・  栽培等）等学級や学校、地域のため  に支援を受けながら自分の役割を果  たすことを覚えよう | | ○中学校特別活動（２）エ心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成  ・節度ある生活を送ることを覚えよう  ・事件や事故から身を守る方法を覚えよう  ○中学校特別活動（３）イ社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること  ・学級や学部、学校での自分の役割を理解し、  責任を持って果たすことができるようになろ  う  ・社会生活を営む上で必要なマナーやルールを  覚えよう  ・ボランティア活動にはどのようなものがある  か知ろう | ○高等学校特別活動（２）オ生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立  ・節度ある生活を送ろう  ・事件や事故から身を守る方法を身につけ安全に  生活しよう  ○高等学校特別活動（３）ウ社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること  ・マナーやルールを守り節度ある社会生活を営む  力を身につけよう  ・学校内外のボランティア活動に参加しよう  ・地域と繋がりながら、命を守る行動を覚えよう |
| **学校行事** | | ○地震避難訓練（起震車・煙体験・消火訓練）  ○避難訓練（大雨・洪水）  ○火災避難訓練  ○スクールバス避難訓練  ○シェイクアウト訓練  ○弾道ミサイル対応訓練  ○不審者対応訓練  ○交通安全教室  ○いのちの教室  ○現場実習・校内実習  ○修学旅行  ○宿泊学習  ○校外学習  ○文化的行事  ○マラソン大会  ○防災給食  ○PTA親子行事 | ○地震避難訓練（起震車・煙体験・消火訓練）  ○避難訓練（大雨・洪水）  ○火災避難訓練  ○スクールバス避難訓練  ○シェイクアウト訓練  ○弾道ミサイル対応訓練  ○不審者対応訓練  ○交通安全教室  ○いのちの教室  ○現場実習・校内実習  ○修学旅行  ○宿泊学習  ○校外学習  ○文化的行事  ○マラソン大会  ○防災給食  ○PTA親子行事 | ○地震避難訓練（起震車・煙体験・消火訓練）  ○避難訓練（大雨・洪水）  ○火災避難訓練  ○スクールバス避難訓練  ○シェイクアウト訓練  ○弾道ミサイル対応訓練  ○不審者対応訓練  ○交通安全教室  ○いのちの教室  ○現場実習・校内実習  ○修学旅行  ○宿泊学習  ○校外学習  ○文化的行事  ○マラソン大会  ○防災給食  ○PTA親子行事  ○学校周辺清掃の日 |
|  |  | | | | |
| **安全教育の成果を測る指標** | | | | | |
| 【災害安全・生活安全】  ○毎回各避難訓練後の教職員へのアンケート（様々な状況下で行う訓練内容の適切性、児童生徒の理解、教職員の役割の理解と動きと連携、協力体制、機器の使用具合、次回にむけての改善等）を実施している。  ○各避難訓練の事前事後学習の繰り返しで定着を図っている。様々な状況下で身を守る行動がとれるよう工夫して繰り返し実践している。観察法を評価指標としている。  ○「生活単元学習における防災学習」については、授業前後の評価シートを実施し、児童生徒の理解を数値化、分析、次回にむけての改善を図っている。  ○毎学期、「持ち物リスト」を配布し非常持ち出し袋を家庭から持参することで防災意識の向上を図っている。  ○保護者にむけて防災意識調査を年度始めと終わりの2回実施し、アンケート結果を分析している。次年度にむけての改善を図る。  ○全校で防災学習に関する教材教具を共有している。観察法発表、感想文やワークシート等を評価指標としている。  ○全校を通して「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、「地域とつながる学習」を実践している。○○市役所防災課、○○福祉保健所、○○警察署、○○市消防本部等、地域の防災や防犯における組織活動について、児童生徒が訪問し、見学や質問を行っている。危険マップの制作や調査したことを参観日で発表する等して、地域とつながる学習活動を、全校通して行っている。発表内容や感想文やワークシート等を評価指標としている。  ○スクールバスへの備蓄品や避難訓練や避難場所等、バス会社と連携を行っている。事前事後学習により、観察法や日記等を評価指標としている。  ○道徳科を含め、安全な生活の理解を図っている。観察法やワークシート等を評価指標としている。  【交通安全】  ○交通安全教室、日々の登下校の横断の仕方、校外での学習における交通ルールの実践等により、理解定着を行っている。観察法や事後学習、ワークシート、日記や感想文、感想の発表等を評価指標としている。 | | | | | |